

物部川清流保全への取組内容及び指標（環境ものさし）案 一覧

資料6

目指す姿： 清流保全計画 6-1 豊かな水量を確保・維持する

取組の柱	取組項目	主な内容 / [主な実施主体]	指標（環境ものさし）	目標値	令和7年度の主な協議会内外活動（計画）
1. 山の保水力の回復を図る [計画 P11]	ア 地域特性に応じた森林整備の推進（間伐、混交林化など） イ シカ対策 ウ 森林ボランティアの養成 エ 実習フィールドとしての流域の森林の確保	ア 間伐、混交林化 [森林管理者] イ シカ対策 [森林管理者、流域団体、市民] ウ 森林ボランティアの養成 [県] エ 森林環境学習などに適した森林の確保 [森林管理者]	ア-1 民有林の森林整備（再造林、除・間伐）(ha) ア-2 国有林の森林整備（保育間伐、除伐）(ha) イ-1 シカの捕獲頭数（頭） イ-2 食害防止柵による保護面積（累計、ha） イ-3 環境保全活動団体によるシカ被害対策の取組（回、人） ウ-1 森林ボランティア実施数・参加数（回、人） 計 6指標	－ ★ ★ ★ ★ ★	<協働活動> ・シカ被害対策・春季秋季ボランティア活動（防護柵設置、土砂流出防止マット設置等） ・「山保水ワーキング」「川本来ワーキング」等での検討及び連携した取組 （発生源対策・水源地対策・濁水対策の検討、水環境勉強会の成果・課題の周知（高校生・大学生への周知、高知の森と水フォーラム開催等）） ・河川環境先進地視察研修の企画・実施、物部川フォーラムの開催 （テーマ/河川環境問題、物部川流域ふさと交流推進協議会主催） ・田んぼダムなど先進事例の共有 ・物部川流域ふさと交流推進協議会ホームページでの情報発信
2. 水の有効利用を図る [計画 P12]	ア 日常生活での節水の啓発 イ 水利用の検討・調整 ウ 家庭や事業場での雨水貯留の推進	ア 日常生活での節水の啓発 [利水者、3市] イ 水利用の検討・調整 [利水者、河川管理者、流域団体] ウ 家庭や事業場での雨水貯留の推進 [3市]	イ-1 杉田地点における流量 (m ³ /s) イ-2 瀬切れの回数 (日) イ-3 河口閉塞の状況 (回) 計 3指標	－ － －	<個別活動> ・上記以外の取組

目指す姿： 清流保全計画 6-2 きれいな水質を保つ

★イ-2 代かき濁水対策WGでの議論を踏まえて、止水板による啓発ではなく、チラシや看板による啓発を行う方向性となったため項目名称を変更

取組の柱	取組項目	主な内容 / [主な実施主体]	指標（環境ものさし）	目標値	令和7年度の主な協議会内外活動（計画）
1. 濁水対策を進める [計画 P13]	ア 森林整備の取組 イ 濁水対策の検討及び取組	ア 森林整備の取組 [森林管理者] イ 濁水対策の検討及び取組 [物部川濁水対策検討会、物部川清流保全推進協議会、森林管理者、河川管理者、利水者、3市、流域団体、市民]	イ-1 釜ヶ淵の濁度（中規模出水程度）(FTU) ★イ-2 農業濁水軽減のための啓発（広報誌等での啓発回数、浅水代かき実践会の実施）(回) イ-3 濁度差（基準点（山田堰）と高川原との濁度差平均値） 計 3指標	15FTU ★ －	<協働活動> ・「山保水ワーキング」「川本来ワーキング」「農業濁水ワーキング」での検討及び連携した取組 （発生源対策・水源地対策・濁水対策の検討、広報誌、ラジオ・テレビ、物部川学習動画放映、啓発チラシ配布、啓発看板設置、行政合同濁度調査、水環境勉強会の成果・課題の周知（高校生・大学生への周知、高知の森と水フォーラム開催等）） ・物部川流域ふさと交流推進協議会ホームページでの情報発信
2. 家庭での排水・汚水処理を普及させる [計画 P13]	ア 浄化槽の普及と適切な維持管理の徹底 イ 下水道などへの接続の推進	ア 浄化槽の普及と適切な維持管理の徹底 [県、3市、事業者、市民] イ 下水道などへの接続の推進 [県、3市、事業者、市民]	イ-1 下水道接続率 (%) イ-2 生活排水処理率 (%) イ-3 BOD（全国一級河川の水質概況） ★イ-4 透視度、濁度、ASPT値（清流モニタリング調査） 計 4指標	85~100% － － －	<個別活動> ・上記以外の取組

目指す姿： 清流保全計画 6-3 生態系及び景観の保全

★イ-3 物部川においてカワウによる魚類への被害は深刻である。県としても今後対策を進める方針

取組の柱	取組項目	主な内容 / [主な実施主体]	指標（環境ものさし）	目標値	令和7年度の主な協議会内外活動（計画）
1. 川本来の姿を取り戻す [計画 P14]	ア 多自然川づくりの取組 イ 水生生物の生息に適した川づくりの取組	ア 多自然川づくりの取組 [河川管理者、市民団体] イ 水生生物の生息に適した川づくりの取組 [河川管理者、流域団体]	ア-1 多自然川づくりの実施箇所数（箇所） イ-1 動植物の生息・生育・繁殖状況（河川水辺の国勢調査）(目・科・種) イ-2 下流アユ遡上期生息数（尾） ★イ-3 カワウの捕獲数（羽） 計 4指標	－ － 100万尾 ★	<協働活動> ・「山保水ワーキング」「川本来ワーキング」「農業濁水軽減ワーキング」での検討及び連携した取組 （川づくりの手引き書「川本来の姿を取り戻すために（案）」の周知（高知の森と水フォーラム 出展、土木関係者勉強会）、水辺林現地視察会の開催、香美市との連携等） ・物部川流域ふさと交流推進協議会ホームページでの情報発信 ・物部川・河川一斉清掃への関係者・市民の参加拡大
2. 水辺林の適正な管理を進める [計画 P15]	ア 水辺林の適正な管理の推進	ア 生物多様性を確保するための河川沿いにある水辺林の適正な管理 [物部川清流保全推進協議会、森林管理者、河川管理者、3市、流域団体、市民]	★ア-1 水辺林（溪畔林・河畔林）の整備箇所数（箇所） 計 1指標	1箇所	
3. ごみ対策を進める [計画 P15]	ア ごみ問題の広報 イ 不法投棄防止の啓発 ウ 農業用資材の管理徹底 エ 川の一斉清掃	ア ごみ問題の広報 [物部川清流保全推進協議会、3市、流域団体] イ 不法投棄防止の啓発 [河川管理者、3市] ウ 農業用資材の管理徹底 [物部川清流保全推進協議会] エ 川の一斉清掃 [河川管理者、3市、物部川清流保全推進協議会]	イ-1 ポイ捨てや不法投棄の箇所数（箇所） ★エ-1 物部川・河川一斉清掃の実施及び参加者数、回収したごみの量（回、人、袋（可燃、不燃、カン、ビン、ペットボトル）） 計 2指標	－ －	<個別活動> ・上記以外の取組

目指す姿： 清流保全計画 6-4 川とともに人が豊かに暮らす

★イ 8月総会での意見 = ハード整備の検討の必要性
・中下流部でも子どもが遊べる場所について考えていかねばならない。情報戦略だけでなく、場所の整備も含めた議論、トイレの整備などきめ細かい対応が必要
・人が集うという環境の中で重要なのはトイレと駐車場
・仁淀川には河畔林があるが物部川にはない。日陰を作るといふのも必要かもしれない

★ア-1 体験学習の推進として項目を変更(現状は6-1-エ)

取組の柱	取組項目	主な内容 / [主な実施主体]	指標（環境ものさし）	目標値	令和7年度の主な協議会内外活動（計画）
1. 子どもたちを川へ [計画 P16]	ア 子どもたちの体験学習の推進 ★イ 子どもたちの遊び場としての魅力向上につながる取組の検討	ア 子どもたちの体験学習の推進（川遊びや川の生き物、川の危険性についての学習や山・川・海を連続したものとして学べる体験学習等） [森林管理者、河川管理者、県、3市、流域団体、物部川清流保全推進協議会] ★イ 子どもたちの遊び場としての魅力向上につながる取組（ハード整備）の検討 [3市、河川管理者、物部川清流保全推進協議会]	★ア-1 流域の学校を対象とした森林環境学習、林業体験の回数、参加数（回、人） ★ア-2 川の体験学習や物部川流域学習講座一覧表掲載メニューの実施回数、参加数（回、人） 計 2指標	★ ★	<協働活動> ・環境学習等主催者への人的協力 ・物部川ニュースレターの発行（年3回） ・川遊びイベント等の協力者、市民・高校生スタッフの参加募集 ・「RAC川の安全教室」の実施による安全な川の活動の推進（3種類×年1回） ※仁淀川清流保全推進協議会と連携して開催 ・物部川の川遊び安全ガイドブック（仮称）の作成検討 ・物部川流域ふさと交流推進協議会ホームページでの情報発信 ・子どもたちの遊び場としての魅力向上につながる取組（ハード整備）の検討（例）トイレの整備について、日陰となる河畔林の整備について、親水公園について
2. 物部川を楽しむ・学習する [計画 P16]	ア 流域及び上下流の交流イベントや環境学習バスツアー等の開催 イ 流域のお宝発見	ア 流域及び上下流の交流イベントや環境学習バスツアー等の開催 イ 流域のお宝発見 ア、イ共通 [県、物部川流域ふさと交流推進協議会、流域団体]	★ア-1 流域及び上下流の交流イベントや環境学習バスツアー等の実施数、参加者数（回、人） ★ア-2 川で遊んだことのある子どもの割合（割合）（%） ★ア-3 「RAC川の安全教室」講座受講者数、川の指導者（RACリーダー）の養成数（人） ★ア-4 遊漁者に占める若年層の割合（%）及び若年層を呼び込む取り組みの実施 計 4指標	－ 30% 40人、3人 ★	
3. 流域資源の有効活用 [計画 P17]	ア 物部川グリーンツーリズムの推進 イ 流域資源の有効活用の推進	ア 物部川グリーンツーリズムの推進 [県、3市、物部川DMO協議会、流域団体] イ 流域資源の有効活用の推進 [県、3市、流域団体]	ア-1 体験型観光メニューの数（個） イ-1 流域資源を活用した地域アクションプラン数（個） イ-2 流域資源を活用したふさと納税の件数（件） イ-3 入漁券の販売額（単年値）（円） イ-4 アユの漁獲量（t） 計 5指標	－ － 15,000件 1,000万円 30t	<個別活動> ・上記以外の取組

目指す姿： 清流保全計画 6-5 流域住民が物部川の清流保全にかかわる

★ア-3 現在の協定3社からの寄附及び3市負担金により、円滑な取組ができていくことから現状維持を目指す

取組の柱	取組項目	主な内容 / [主な実施主体]	指標（環境ものさし）	目標値	令和7年度の主な協議会内外活動（計画）
1. 住民参加型の環境保全活動へ [計画 P17]	ア 住民と行政が連携・協働した環境保全活動の取組の推進	ア 住民と行政が連携・協働した環境保全活動の取組の推進 [河川管理者、流域団体、物部川流域ふさと交流推進協議会、物部川清流保全推進協議会、県]	ア-1 ラブリーバー物部川パートナーズシップ団体数・回数（団体、回） ★ア-2 物部川流域での「協働の森づくり事業」協定締結件数（件）、森林整備面積（ha） ★ア-3 物部川流域清流保全パートナーズ協定締結件数（件） ★ア-4（6-3-3 エ-1再掲）物部川・河川一斉清掃の実施及び参加者数、回収したごみの量（回、人、袋（可燃、不燃、カン、ビン、ペットボトル）） 計 3指標	－ ★ 3件 －	<協働活動> ・物部川ニュースレターの発行（年3回） ・高知の森と水フォーラムでのパートナーズ企業との連携 ・物部川流域ふさと交流推進協議会ホームページでの情報発信 <個別活動> ・上記以外の取組